

保健環境組合 だより REPORT No. 11

2022 Jan.



みの排出に、ご協力をお願い







■減容器 2減容器から排出される圧縮・減容された食品トレイ 3圧縮・減容されたペットボトル 4圧縮・減容されたペットボトルや食品トレイ

ごみの分別の徹底をお願いします!



質発生の原因となる場合があります。 みの日に、それぞれ回収されております。 る資源ごみとして隔週で、電池は不燃ご 池などの、可燃ごみに分類されていない うした可燃ごみ以外のごみを可燃ご みが混ざっていることがあり キシンや水銀などの有害 トルはリサイクルのでき 焼却炉 ル

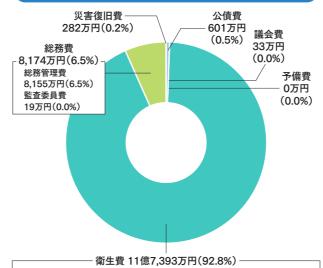
ただいてお ŋ 誠にあり いるごみ分別表の の処理にお

分別のご協力を

令和2年度須賀川地方保健環境組合決算報告

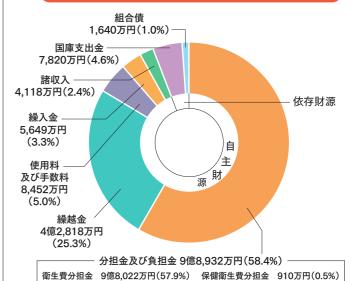
令和2年度の須賀川地方保健環境組合決算について、以下のとおり報告いたします。

令和**2**年度歳出 12億6,483万円



清掃費	11億494万円(87.4%)	保健衛生費	6,899万円(5.4%)
うちし尿処理費	1億1,398万円(9.0%)	うち救急医療事業費	3,837万円(3.0%)
うちごみ処理費	9億789万円(71.8%)	うち斎場費	3,062万円(2.4%)
うち埋立処理費	8.307万円(6.6%)		

令和2年度歳入 16億9,429万円



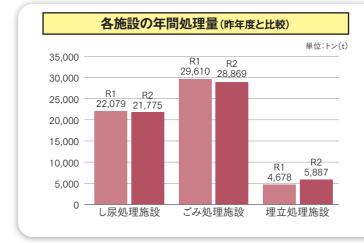
うち須賀川市 7億9.994万円(47.2%) 801万円(0.5%) うち須賀川市 1億2,226万円(7.2%) うち鏡石町 76万円(0.0%) うち鏡石町 33万円(0.0%) 5.802万円(3.5%)

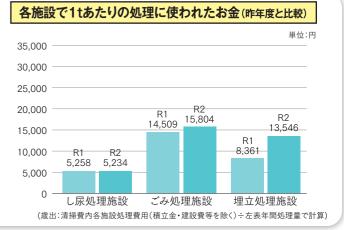


分担金	組合各事業を行うにあたり、構成市町村に賦課(税金などを割り当てること)した収入です。	
使用料及び手数料	数料 組合各施設を利用いただいた時の使用料や、各証明書の発行手数料です。	
国庫支出金	金」 国が資金の使い道を特定して、地方公共団体に交付する支出金です。	
国庫補助金	国が特定の事業(循環型社会の形成など)を奨励するために、地方公共団体などに交付する補助金です。	
繰越金	金 前年度決算から繰り越された剰余金(残ったお金)です。	
繰入金	繰入金 施設整備事業のために設置した基金(元手となる預金)からの繰入れです。	
諸収入 職員健康診断助成金、鉄くず・古紙類の売却代金などです。		
組合債	施設整備事業のために組合が起こした借入金です。	

歳出 内訳の解説

	議会費	組合議会運営に用いられた費用です。
	総務管理費	職員給与や衛生センターの運営に用いられた費用です。
	監査委員費	組合監査委員(組合の財務や事業の監査を行う機関)の運営に用いられた費用です。
	清掃費	し尿処理施設、ごみ処理施設、埋立処理施設の管理・運営に用いられた費用です。
	保健衛生費	休日夜間急病診療所及び斎場の管理・運営に用いられた費用です。
	災害復旧費	被災した施設の復旧に用いられた費用です。
	公債費	公債の償還(返却すること)や利子の支払いに用いられた費用です。
	予備費	予見が難しい歳出予算の不足が生じた際に充てられる費用です。
		·





引き続き、適正な管理・運営に努めてまいります。



保健環境組合だより

須賀川地方保健環境組合

須賀川市森宿字ビワノ首43番地1 TEL.0248-73-4515 FAX.0248-73-4526 http://www.kankyou-sukagawatiho.jp/

4 中の各活動収支の内訳

A 業務活動	▲8,670万円
支出	12億1,314万円
人件費支出	1億1,589万円
物件費等支出	10億6,784万円
補助金等支出	400万円
その他の支出	1,673万円
災害復旧事業費支出	868万円
収入	11億2,644万円
税収等収入	8億4,390万円
国県等補助金収入	9,792万円
使用料及び手数料収入	1億2,927万円
その他の収入	5,535万円

B 投資活動	▲2億3,000万円
支出	2億3,000万円
基金積立金支出	2億3,000万円
収入	0万円
基金取崩収入	0万円

C 財務活動	1,410万円
財務活動支出	0万円
財務活動収入	1,410万円

③純資産変動計算書

貸借対照表内の純資産について、令和元年度中の変動を表します。

① 前年度末純資産残高	79億378万円
② 純行政コスト	▲14億7,127万円
③ 財源	9億4,182万円
税収等	8億4,390万円
国県等補助金	9,792万円
④ 本年度純資産変動額(②+③)	▲5億2,945万円
⑤ その他変動額	0万円
本年度末純資産残高(①+④+⑤)	73億7,433万円

当組合の財源としては、分担金や国庫支出金が挙げられます。 令和元年度の当組合では、純行政コストに対して財源が不足する状態でした が、前年度までの残高により、全額を賄うことができました。

②資金収支計算書

令和元年度の収入と支出を明確にするためのものです。 年度内に行われた資金の動きがすべて記されています。

① 本年度資金収支額	▲3億260万円
A 業務活動収支	▲8,670万円
B 投資活動収支	▲2億3,000万円
C 財務活動収支	1,410万円
② 前年度末資金残高	4億9,034万円
③ 本年度末資金残高(①+②)	1億8,774万円
④ 本年度末歳計外現金残高	116万円
本年度末現金預金残高(③+④)	1億8,890万円

- ※業務活動収支…行政サービス活動によって生じた収支
- ※投資活動収支…固定資産や基金など、将来のための活動によって生じた収支
- ※財務活動収支…ごみ処理施設建設事業組合債など、資金調達によって生じた収支

表内の「本年度末資金残高」と「本年度末歳計外現金残高」を合わせることで、 会計年度の現金預金残高がわかります。

令和元年度の当組合は、業務活動収支及び投資活動収支でマイナスとなりました が、前年度末資金残高がプラスであったため、資金収支の合計はプラスとなりました。

❶貸借対照表

令和元年度末の時点で、組合が保有する資産と、負債・純資産について表 したものです。

資産の部	105億4,244万円	1	負債の部	31億6,811万円
① 固定資産	103億5,354万円	(① 固定負債	11億9,870万円
有形固定資産	101億19万円	(② 流動負債	19億6,941万円
投資その他の資産	2億5,335万円		未払金	19億6,825万円
② 流動資産	1億8,890万円		預り金	116万円
現金預金	1億8,890万円	Š,	純資産の部	73億7,433万円
		(① 固定資産等形成分	103億5,354万円
		(② 余剰分(不足分)	▲29億7,921万円
資産合計	105億4,244万円	ţ	負債及び純資産合計	105億4,244万円

- ※固定資産…建物・工作物など、長期にわたり所有・使用する資産
- ※流動資産…現金預金など、短期間(1年以内)で現金に換えられる資産
- ※固定負債…返済が1年を超える負債
- ※流動負債…1年以内に返還または払出が必要な負債

令和元年度の当組合は、新ごみ処理施設建設事業費などにより、年度をまた ぐ未払金(流動負債)が生じています。

また、消費可能な資産(流動資産)よりも、新ごみ処理施設建設事業へ払い出 すための消費が多かったため、純資産の部において、余剰分(不足分)がマイナス 表記となっています。

なお、新ごみ処理施設が完成したため、固定資産が増加しています。 ※構成市町村民1人当たりの資産額 112,394円 負債額 33,776円 構成市町村人口 93,799人(令和2年3月31日時点の住民基本台帳)

②行政コスト計算書

令和元年度に、組合の行政サービスで生じたコストについて表したものです。

① 経常費用	16億4,744万円
人件費	1億1,589万円
物件費等	15億1,082万円
その他の業務費用	1,666万円
補助金等	400万円
その他	7万円
② 経常収益	1億8,462万円
使用料及び手数料	1億2,927万円
その他	5,535万円
③ 純経常行政コスト(②-①)	▲14億6,282万円
④ 臨時損益	845万円
純行政コスト	▲14億7,127万円

※経常費用…行政サービスを行うために毎会計年度必要となるコスト ※経常収益…行政サービスによって毎会計年度生じる収益

当組合では、経常費用の多くを、各施設の維持補修費、減価償却費などの物件 費が、経常収益の多くを、各施設の使用料及び手数料が、それぞれ占めています。 上記の表は、施設使用料などで回収する金額よりも、施設の維持補修などで支

出する金額のほうが多いことを示しています。

※構成市町村民一人当たりの行政コスト 15,685円

3 2022 Jan.